木材利用

千葉県　千葉市（新庁舎への木製什器の導入）

- 千葉市は、「千葉市内の公共建築物等における木材利用促進方針」を策定し、地域産材を利用した木質化等の取組を推進している。
- 千葉市役所新庁舎に県産材を活用した木製テーブル、木製スツールを設置した。

□　事業内容

木製製品の購入

- 千葉市役所新庁舎の表玄関となる１、２階市民ヴォイド周り（エントランスロビー、情報ステーション等）に県産材を活用した木製テーブル、木製スツールを設置した。

【事　業　費】6,191千円（うち譲与税3,918千円）
（譲与税は、県産材木材を使った製品に係る部分に充当）

【実　　績】木製テーブル　　9基
木製スツール　　12基

□　取組の背景

- 千葉市では、「千葉市内の公共建築物等における木材利用促進方針」を策定し、地域産材を利用した木造化・木質化等を促進することにより、市民にやすらぎとぬくもりのある健康的で、快適な公共空間を提供するとともに、循環型社会の構築や地球温暖化の防止、林業・木材産業の振興、森林の再生などに資する取組みを推進している。
- 平成23年3月11日の東日本大震災を契機に、有事の際にも市役所機能を保つことが急務であることが認識され、新庁舎の整備に向けた検討を開始。新庁舎は令和2年6月に着工し、令和5年6月に全面開庁。

（木製テーブル）

（木製スツール）

（県産材使用の刻印）

□　工夫・留意した点

- 使用する木材へ、県産木材サンブスギを使用した。
- 木製テーブル及び木製スツールへ県産木材を使用していることが分かるよう刻印した。

□　取組の効果

- 設置した木製製品へ県産木材を使用したことで、県内の森林整備の促進に寄与した。
- 県産木材を使用していることが分かるよう刻印、周知することで森林整備の普及啓発に寄与した。

◇　基礎データ

①令和４年度譲与額：116,324千円	②私有林人工林面積（※１）：1,854ha	
③林野率（※１）：20.7%	④人口（※２）：974,951人	⑤林業就業者数（※２）：59人

※１：「2020農林業センサス」より、※２：「R2国勢調査」より